

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。

撮影エリア

ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュを使用するの撮影は禁止とさせていただきます。

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして

広島神楽の魅力を発信してください!!

6月21日のタイムスケジュール

出演：伊賀和志神楽団（三次市）

19:00～開演

19:05～第一幕『葛城山』
(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『塵倫』
(およそ40分)

20:45～記念撮影会
衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

伊賀和志神楽団プロフィール ～三次市～

伊賀和志神楽団は広島県の北部を流れる江の川沿いの三次市作木町にあります。
神楽団としての活動は、江戸時代の終わり頃からと推定されますが、地元の伊賀和志天満宮の秋の大祭をはじめ、各地の氏神祭や祈願祭などで神前において盛大に神楽が奉納され、代々、土地の有志によって伝承されてきました。
昭和35年には広島県無形民俗文化財の指定を受け、地元・作木中学校の郷土芸能伝承活動として「神楽」の指導をするなど、保存伝承につとめています。
神楽大会や各地の秋祭りでの神楽奉納やイベントなどにも数多く出演させて頂いております。
本日はご声援宜しくお願いいたします。

第一幕『葛城山』(かつらぎざん)

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。
頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 藤岡 勝美	源 頼 光 … 三 上 広 隆	侍女胡蝶 … 佐伯 洋哉
	小太鼓 … 岩岡 勝己	坂田金時 … 河野 英幸	鬼(土蜘蛛) … 下岡 浩之
	手打鉦 … 原田 美香	占部六郎 … 岩岡 純二	
	笛 … 岩崎 政彦		

第二幕『塵倫』(じんりん)

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。
そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乗(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】	大太鼓 … 藤岡 勝美	仲哀天皇 … 岩岡 純二	塵 倫 … 下岡 浩之
	小太鼓 … 三上 広隆	高麻呂 … 佐伯 洋哉	小 鬼 … 岩岡 勝己
	手打鉦 … 原田 美香		小 鬼 … 松田 直人
	笛 … 岩崎 政彦		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。